

財政状況の公表（令和2年度上半期）概要

各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。

令和2年度予算のあらまし 一般会計「1号補正から4号補正」の概要

補正額 808億8,416万6千円

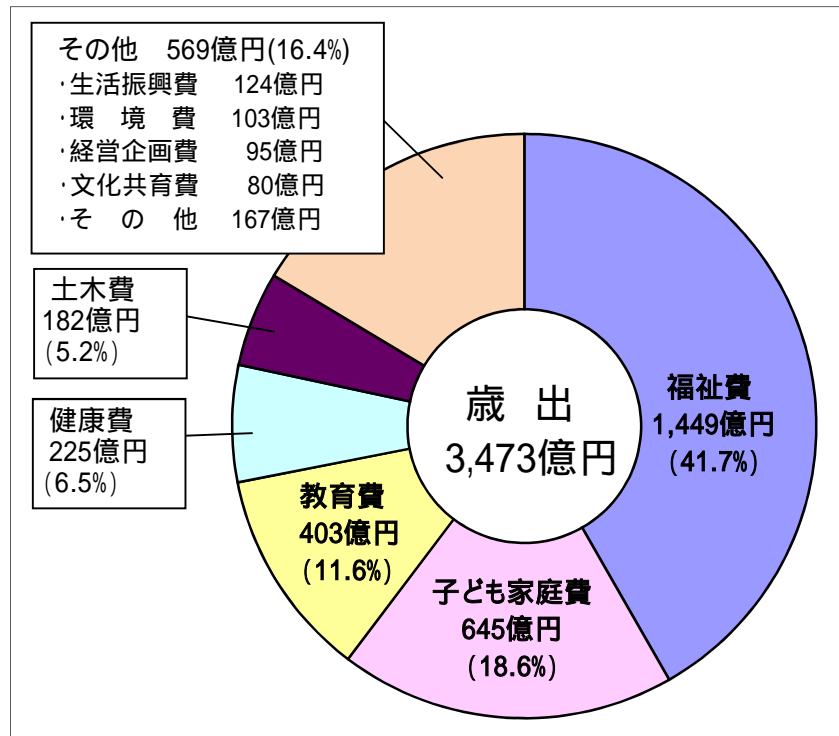
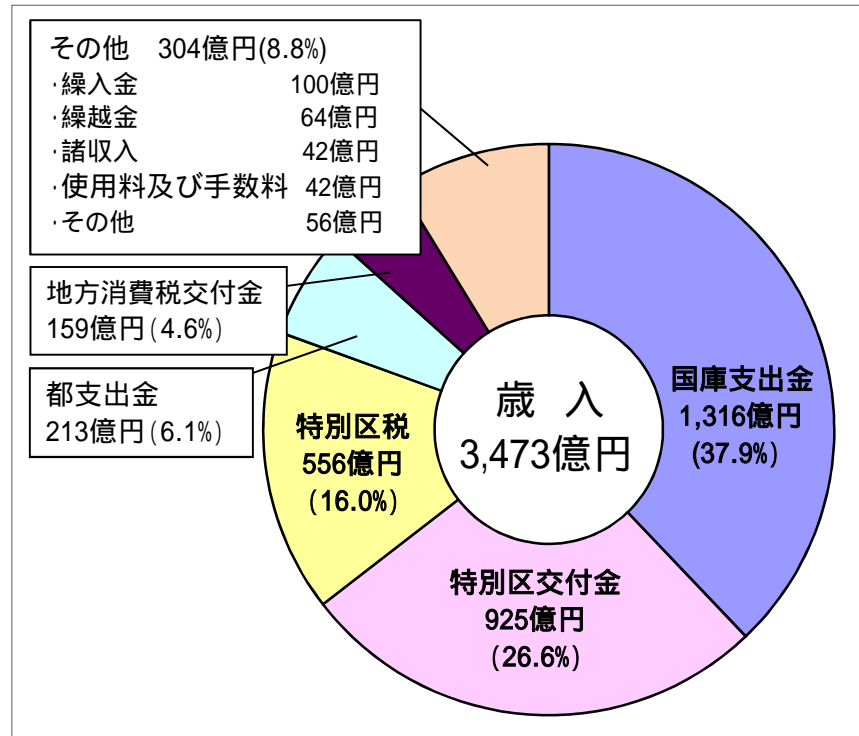
<歳入>

| | |
|----------|---------------|
| 国庫支出金 | 738億3,120万7千円 |
| 繰越金 | 38億2,123万5千円 |
| 繰入金 | 29億1,761万円 |
| 都支出金 | 2億6,388万8千円 |
| 寄付金 | 4,235万4千円 |
| 諸収入 | 763万1千円 |
| 使用料及び手数料 | 24万1千円 |

<歳出>

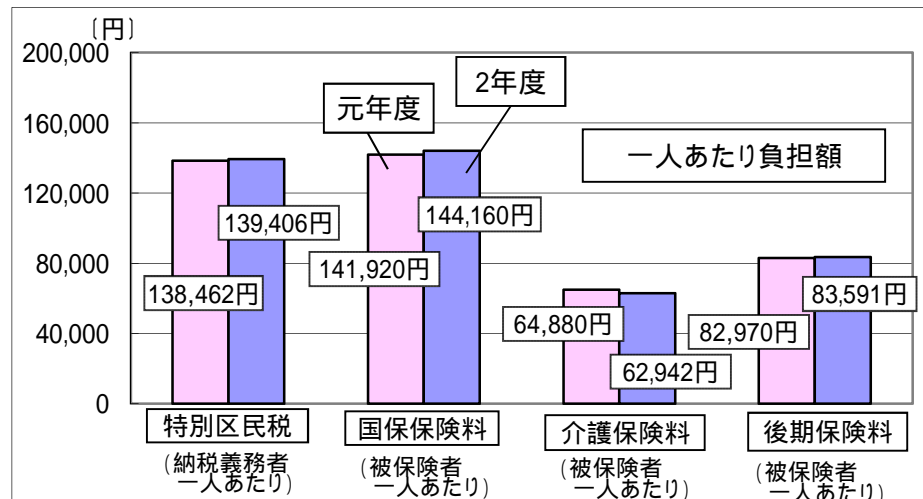
| | |
|---------------------|--------------|
| 特別定額給付金給付事業費 | 700億1,090万円 |
| 学校情報化推進事務費（小・中学校） | 38億804万3千円 |
| 新型コロナウイルス感染症対策関係費 | 27億4,697万6千円 |
| 特別定額給付金給付事務費 | 10億4,695万1千円 |
| ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費 | 8億2,807万円 |
| 学校施設整備費（小・中学校） | 8億1,764万8千円 |
| 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費 | 8億641万円 |
| その他 | 8億1,916万8千円 |

補正後の一般会計予算の構成

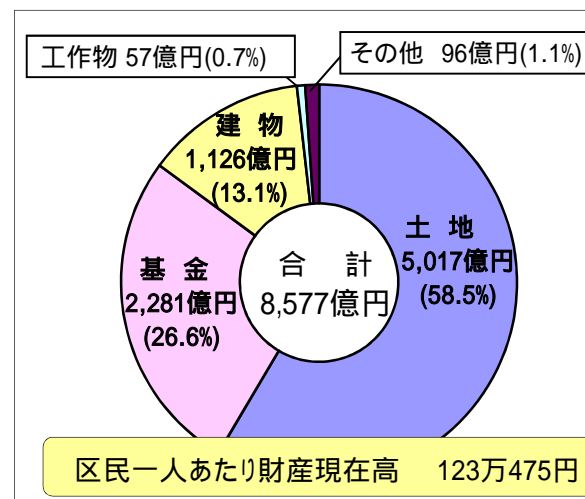


江戸川区の人口（住民基本台帳人口 外国人を含む）697,026人（令和2年10月1日現在）

区民の負担概況（令和2年9月30日現在）



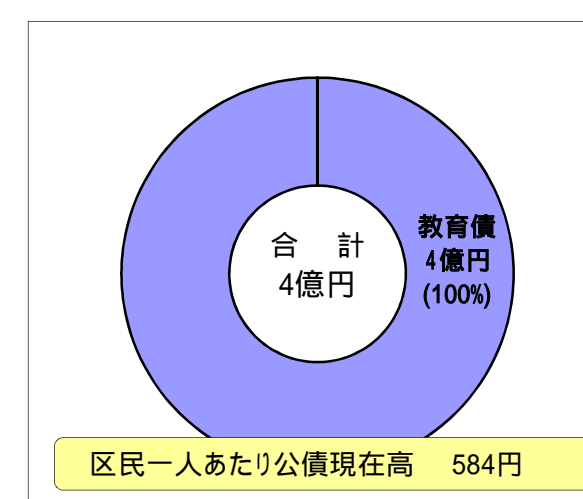
財産の現在高（令和2年9月30日現在）



基金とは...

積立基金と運用基金の2種類があります。左の基金は、この2つの合計です。
積立基金は、家計でいうと貯金です。災害発生時や老朽化した施設の改築等への備えで、9月末現在高は2,076億円です。
運用基金は、一定額の基金を土地取得等のために運用するもので、205億円あります。

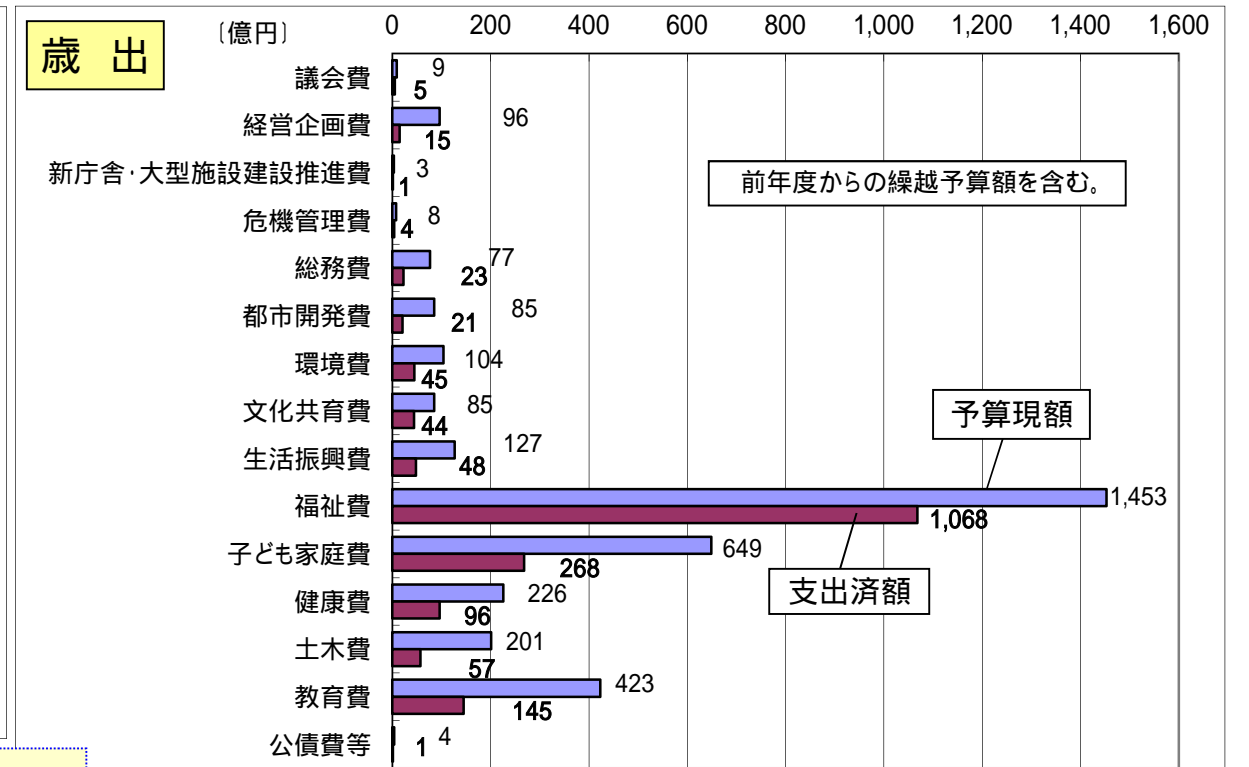
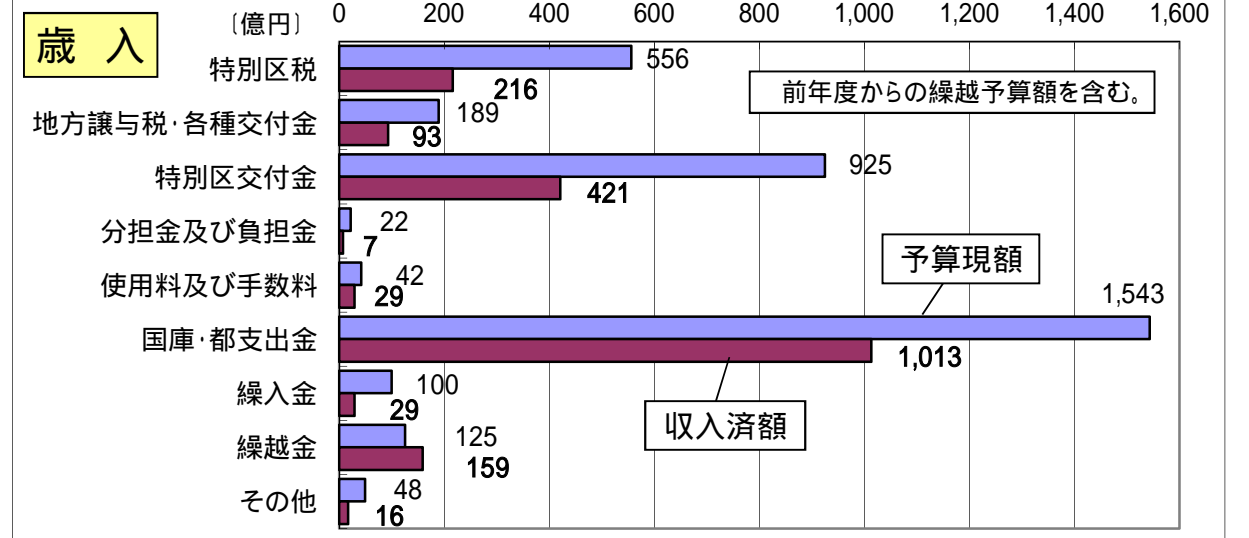
公債の現在高（令和2年9月30日現在）



公債（区債）とは...

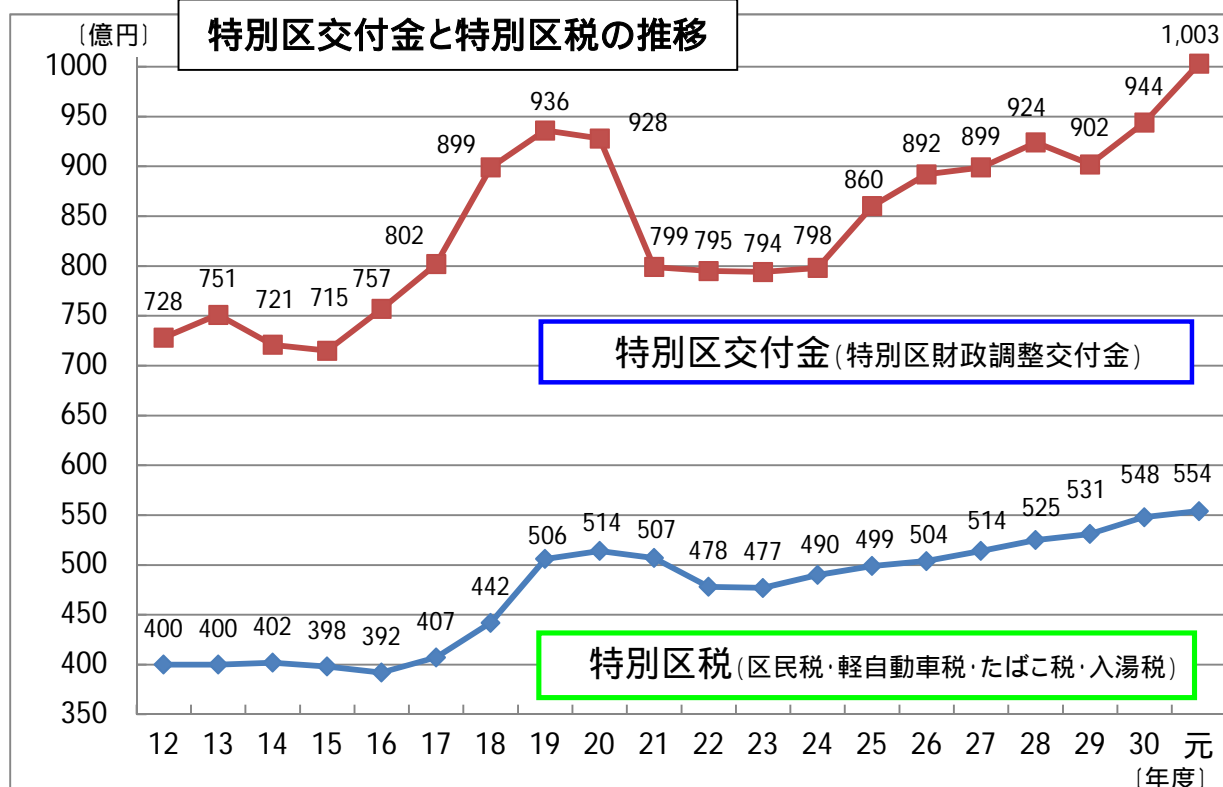
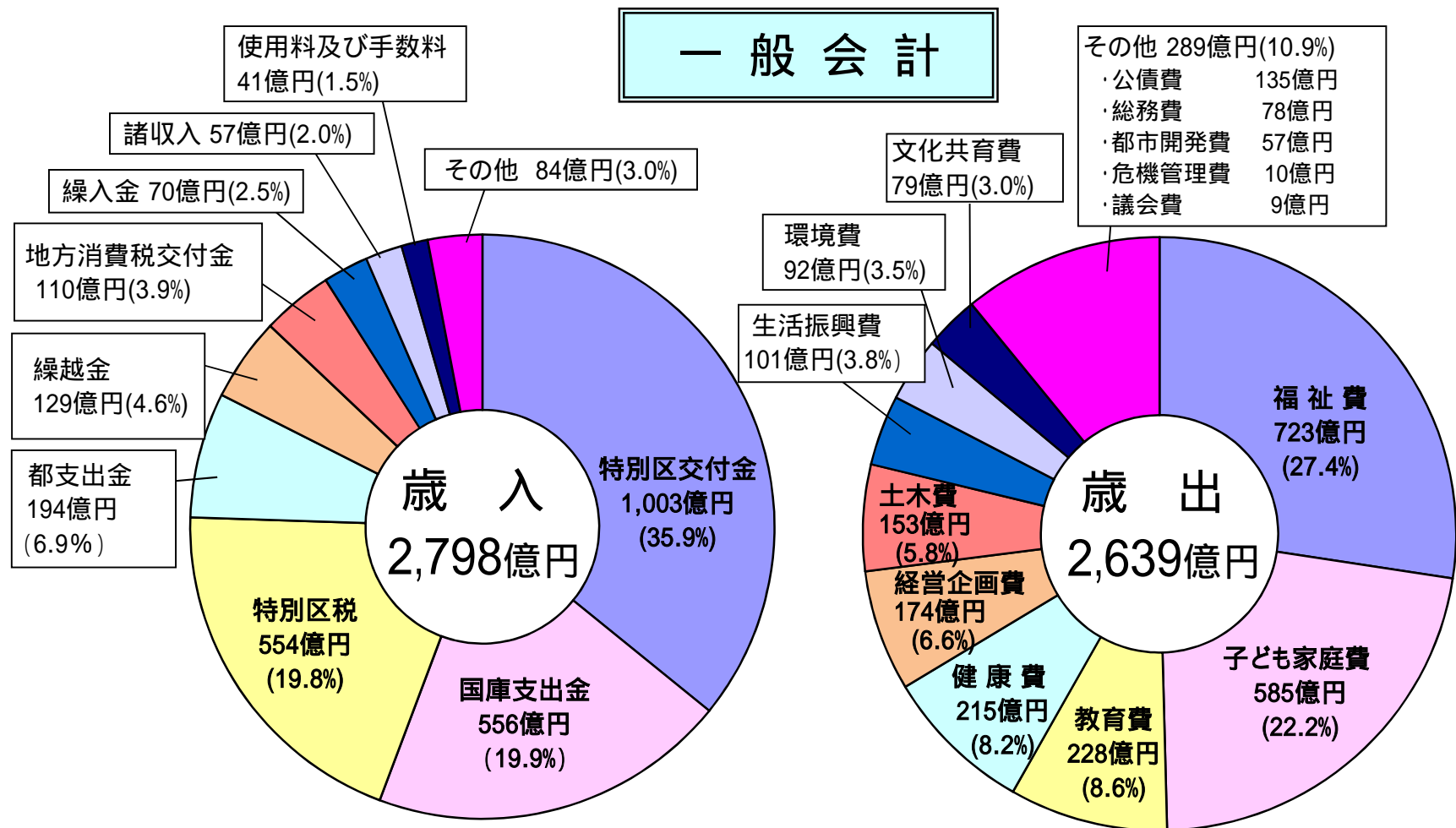
家計でいうと借金です。学校の改築や道路の整備などにおいて、将来これらを利用する区民の方々にもその費用の一部を負担して頂くため公債を借り入れ、負担の公平を図っています。
令和元年度には、健全財政を堅持しつつ、繰上償還を行いました。

令和2年度予算の執行状況 一般会計（令和2年9月30日現在）

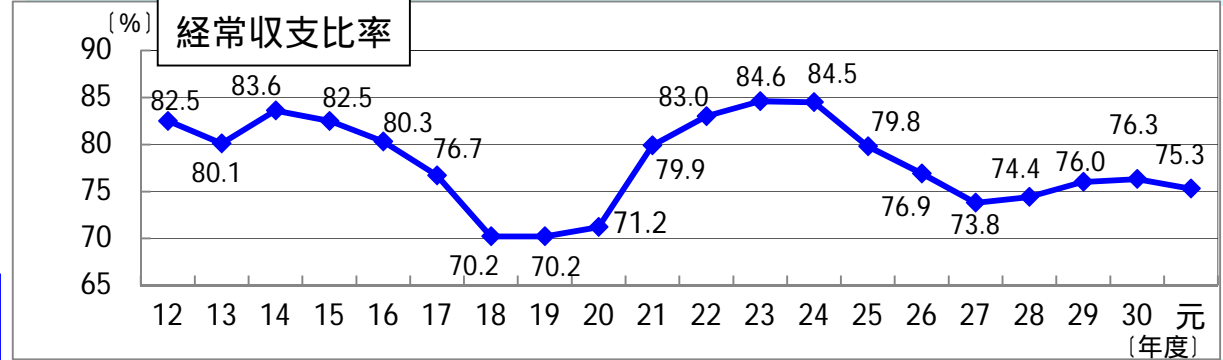


令和元年度 決算の概要

各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。

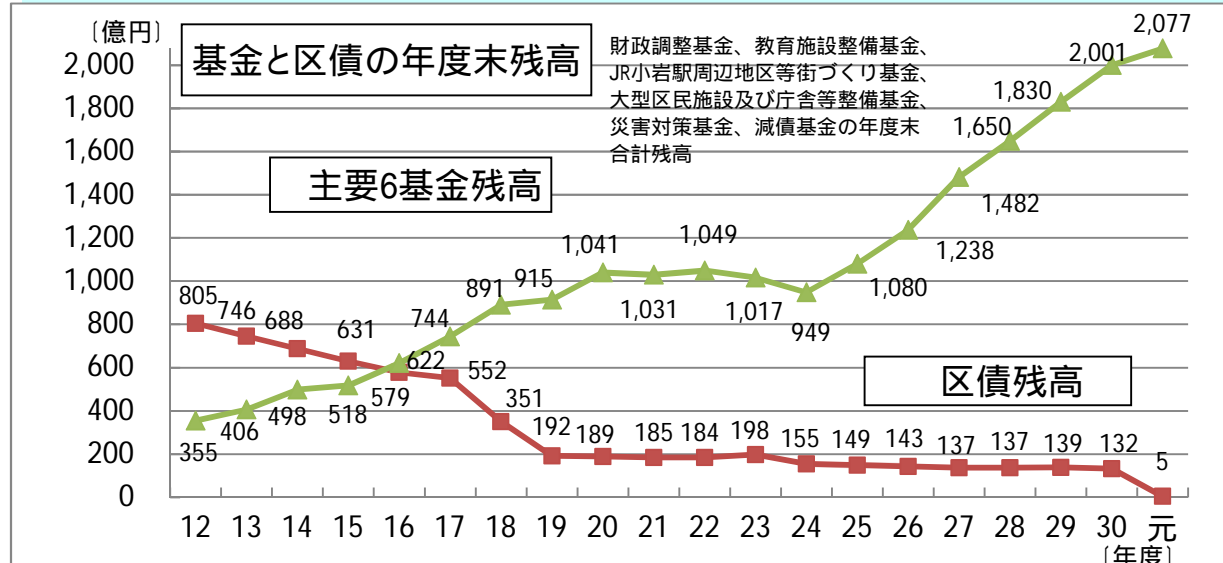
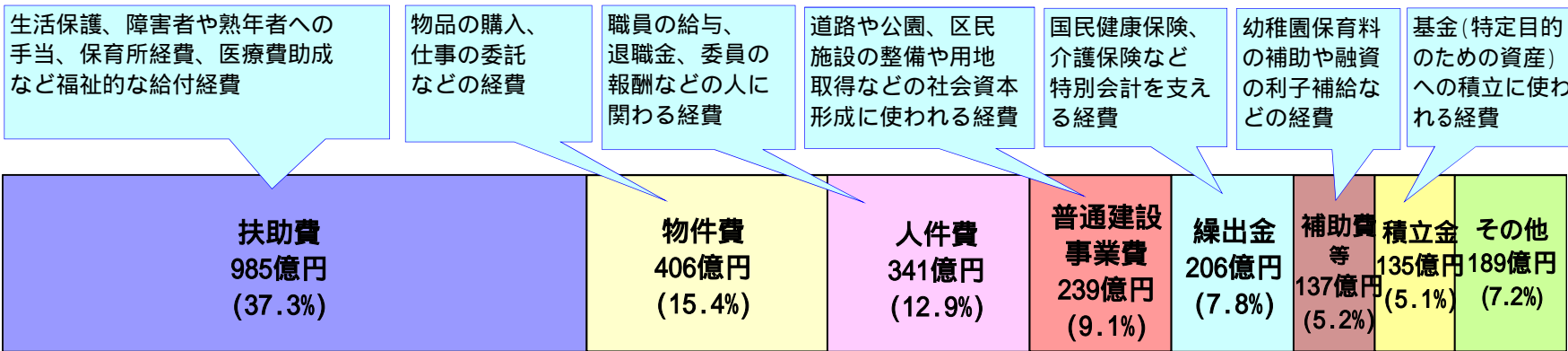


特別区交付金と特別区税は、地方法人課税の一部国税化やふるさと納税制度等による影響を受けているものの、日本経済のゆるやかな景気回復等により、増加傾向にありました。



財政構造の弾力性を計る指標で、適正水準は70%～80%です。令和元年度は、前年度から1ポイント下がりましたが7年連続適正水準となりました。

歳出の性質別内訳



主要6基金残高は、前年度より76億円の増加で2,077億円となりました。なお、その他積立基金、運用基金を合わせた金額は2,319億円となりました。区債残高は、繰上げ償還を行いましたので、前年度より127億円減少し、5億円となりました。

令和元年度決算に基づく健全化判断比率

| | 実質赤字比率 | 連結実質赤字比率 | 実質公債費比率 | 将来負担比率 |
|---------|--------|----------|---------|--------|
| 江戸川区 | - | - | 5.6% | - |
| 早期健全化基準 | 11.25% | 16.25% | 25.0% | 350.0% |

表中の「-」はマイナス値を表し、令和元年度決算が黒字であったこと、将来負担すべき額よりも基金(貯金)の方が多く、将来負担比率の該当がなかったことを示しています。なお、実質公債費比率がマイナスの場合は「-」と表示しています。早期健全化基準とは、この数値を超えると財政が危険な状態であることを示す、国が定めた指標で江戸川区の場合の指標を記載しています。